

設立20周年記念誌

【前編】



公益社団法人
豊見城市シルバー人材センター



シルバー人材センター
シンボルマーク

このマークは全国シルバー人材センターで働く高齢者が連携し、共に働き共に助けあっていくことをめざして制作したものです。デザインはシルバー (Silver) の〔S〕とセンター (Center) の〔C〕で飛翔する鳥と動きだす人の姿を表現しています。



目 次

式辞	(公社) 豊見城市シルバー人材センター理事長 赤嶺 勲	1
祝辞	厚生労働省沖縄労働局長 西川 昌登	2
	沖縄県知事 玉城 デニー	3
	豊見城市長 徳元 次人	4
	豊見城市議会議長 外間 剛	5
	(公社) 沖縄県シルバー人材センター連合会長 翁長 聡	6
設立 20 周年記念式典・祝賀会		7
感謝状、表彰状受賞者一覧	式典・祝賀会スナップ	8 ～ 12
発注者の声		13 ～ 14
会員の声		15 ～ 16
就業風景		17
安全取組・講習会		18
ボランティア活動・パネル展		19
20 年のあゆみ		20 ～ 22
歴代役員一覧		23 ～ 24
設立 20 周年記念事業実施要項		25
設立 20 周年記念事業表彰基準		26
20 周年記念事業実行委員会組織図		27
事務局組織図 (編集後記)		28



式 辞

公益社団法人
豊見城市シルバー人材センター
理事長 **赤 嶺 勲**

本日、ここに公益社団法人豊見城市シルバー人材センター設立 20 周年記念式典を挙げるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、記念式典にご案内を申し上げましたところ、公私共々多忙の中、沖縄労働局長 西川昌登様、沖縄県知事 玉城康裕様、豊見城市長 徳元次人様、豊見城市議会議長 外間剛様、公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合会長 翁長聡様、並びに県内各拠点センター理事長ほか関係者多数のご臨席のもと記念式典が盛大に挙行されますことを会員並びに役職員一同心から喜びに堪えないところであり心から感謝申し上げます。

当シルバー人材センターは、高齢者の豊富な経験と能力を活用し、社会活動に積極的に参加することによって、自らの健康を保持し、生きがいの充実と活力ある地域社会づくりに貢献することを目的として平成 14 年 10 月に設立致しました。設立当時、会員数 102 名、初年度事業実績約 2 百万円でスタート致しましたが、以来 20 年の歳月を経て、令和 5 年 3 月末現在では、会員数 515 名、事業実績 約 2 億 2 千 5 百万円となり着実に成長を遂げて参りました。これも偏に、会員・歴代役職員はもとより、国・県をはじめ、市当局・市議会並びに県シルバー人材センター連合等関係機関からの温かいご指導、ご支援の賜であり、厚く感謝申し上げる次第であります。

さて、我が国においては、人口減少・少子高齢化が同時進行する中で社会経済に対する様々な影響が憂慮されています。特に、継続的な成長を促し、社会経済の活力を維持するために雇用の確保が重要課題として指摘され、定年制度の延長、働き方改革の一環として高齢者の就労促進等様々な施策が講じられています。こうした中、高齢者に就業機会を提供し会員の生きがいと地域社会の活性化に貢献するシルバー人材センターには大きな役割と期待が寄せられています。

当センターといたしましても、これからの地域社会のニーズに応えるため、市当局をはじめ関係機関と連携を密にし、会員、役職員一丸となって、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、地域に愛され、信頼されるシルバー人材センターづくりに尽力して参りたいと決意を新たにします。

なお、本日は長年にわたり当センターの事業発展に多大な貢献のありました発注者の皆様をはじめ会員並びに役員の方々に対し、感謝状及び表彰状を授与させていただきます。

結びに、当センター事業運営に平素からご指導、ご支援を賜りました各関係機関、団体の皆様に厚くお礼を申し上げますと共に、本日ご臨席下さいました皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げまして挨拶といたします。

令和 5 年 5 月 31 日



公益社団法人 豊見城市シルバー人材センター 設立20周年祝辞

厚生労働省
沖縄労働局長

西川 昌 登

本日、ここに公益社団法人豊見城市シルバー人材センターが、設立20周年を迎えるに当たり、心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、平成14年の設立以来今日まで高齢者の長年培ってきた経験と能力を活かし、地域密着型の就労機会を提供するなど、地域社会の活性化に大きく貢献されてきたことに対して深く感謝申し上げます。

貴センターの事業実績をみますと、設立初年度の会員数102人、契約金額約200万円であったものが、皆様方の御尽力により令和4年度には、会員数515人、契約金額約2億2千万円になるなど、業績の伸びは極めて着実です。

特に、県内で60歳以上の人口に対する入会者の割合や女性会員の割合が高いことは、地域における高齢者の就業機会確保の基盤として広く認知され、その役割を発揮していることは明らかです。

御承知のとおり、我が国においては少子高齢化が急速に進み、様々な分野において労働力不足が深刻化しております。働きたいという意欲を持つ高齢者の希望を叶えるため、社会・経済の持続的な発展のためにも、高齢者の就業を促進していくことが課題であり、高齢者の多様な就業機会を確保し、人手不足の悩みを抱える企業を支えるという面からも、シルバー人材センターの果たすべき役割は益々重要となっているところです。

沖縄労働局といたしましても、シルバー人材センターと労働局、ハローワーク等関係機関との連携を強化し、貴センターの各種事業が円滑に推進され、高齢者の多様な形態による就業機会の拡大、生きがいの創出、地域社会の活力ある発展に貢献できるよう支援させていただく所存でありますので、今後とも、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、地域の発展を支えるセンターとして、更なる躍進を御期待申し上げます。

結びに、公益社団法人豊見城市シルバー人材センターの益々の御発展と役職員及び会員の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年5月31日



公益社団法人 豊見城市シルバー人材センター

設立20周年祝辞

沖縄県知事

玉城 デニー

公益社団法人豊見城市シルバー人材センターが設立20周年の節目を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

豊見城市シルバー人材センターにおかれましては、平成14年の設立以来、会員の増加に努めるなど、高齢者の就業機会を確保することで、高齢者の福祉の増進と活力ある地域社会づくりに重要な役割を果たしてこられました。

また、地域の子どもたちを見守る交通安全街頭指導をはじめ、高齢者一人暮らし世帯の家事援助サービスや、地域と会員のニーズを繋ぐ多様な活動などにより、地域の活性化に大きく貢献されております。

こうした豊見城市シルバー人材センターの活動は、豊見城市の発展に大きく寄与するものであり、歴代の役員を始め、関係者の皆様のシルバー事業に対する熱意と御努力に対しまして、深く敬意を表します。

さて、全国的に高齢化が進展する中、本県におきましても、2025年には、およそ4人に1人が65歳以上の高齢者となることが見込まれており、今後、さらに進展する超高齢社会への対応は、喫緊の課題となっております。

また、深刻化する人手不足への対応として、働く意欲のある高齢者が長年培った知識や経験を生かし、地域社会で活躍し続けることは、ますます重要となっております。

このような中、働く意欲のある高齢者に就業をとおして活躍の場と生きがいを提供し、社会参加を促進しているシルバー人材センターの役割はますます重要となり、また、地域社会からの期待も大きくなっていることから、センターのさらなる機能強化・拡充が求められております。

沖縄県としましては、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」において、高齢者が活躍できる環境づくりを施策に掲げ、高齢者の就業機会の確保や、雇用環境の整備促進に取り組んでいるところであり、沖縄県シルバー人材センター連合をはじめ、沖縄労働局、豊見城市等、関係機関との連携により、シルバー事業の健全な発展を図ってまいりたいと考えております。

貴センターにおかれましては、引き続き、会員の就業機会の提供や開拓のほか、様々な地域活動への参加を促すなど、高齢者の方々が活躍できるようお力添えをお願いいたします。

結びに、公益社団法人豊見城市シルバー人材センターのなお一層の御発展と、お集まりの皆様方の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和5年5月31日



公益社団法人 豊見城市シルバー人材センター
設立20周年祝辞

豊見城市長

徳元 次人

公益社団法人豊見城市シルバー人材センターが設立20周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴センターは本市が市政施行した平成14年に設立され、以来、地域における高齢者の方々の就業機会の確保と生きがいの促進に取り組んでこられました。設立初年度102名からスタートした会員数は、令和5年3月末時点では500名を超え、着実に業績を築き上げてこられました。

ここ数年は特にコロナウィルスの感染拡大により多くの活動が制限され、大変に苦慮されてきたと思いますが、こうして20周年という大きな節目を迎えることができましたのも、役員や職員の皆様のたゆまぬ努力と、会員の皆様のご尽力の賜物であると、深く敬意を表すものであります。

さて、わが国は全国的に人口減少及び高齢化時代に突入しております。本市においては引き続き人口増が予測されますが、一方では全国同様に高齢化の進展も見込まれている状況であります。こうした中、高齢者の就業機会の拡大や支援に取り組む貴センターの果たす役割は、ますます重要なものとなってまいります。

今後とも貴センターにおかれましては、健康で働く意欲のある会員の皆様の生きがいの促進するとともに、地域社会での活躍拠点としてご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、公益社団法人豊見城市シルバー人材センターのますますの発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年5月31日



公益社団法人 豊見城市シルバー人材センター

設立20周年祝辞

豊見城市議会議長

外間 剛

この度、豊見城市シルバー人材センターが、設立20周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また、会員の皆様のご努力により20周年記念誌が発刊されますことに対し心よりお慶び申し上げます。

これも偏に、歴代理事長をはじめ、各理事並びに会員各位のたゆまぬご努力の賜物であるとともに、貴センターにおいては、就業を通じ高齢者の健康維持や社会参画に大いに寄与され、地域社会の活性化・福祉向上への貢献に対し、深く敬意を表す次第でございます。

また、豊見城市議会において年4回発刊する「市議会だより」の市内全戸配布についても、貴センターに大役を担って頂いており、この場をお借りし重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、わが国日本はいま、人生100年時代といわれる長寿国となりつつあります。そこで重要なのが「ハツラツ健康」ではないでしょうか。健康なので長寿！を目指し、会員の皆様が地域社会の一員としてご活躍され、喜びと生きがいをもって輝き続けるための場「高齢者の就業拠点」がこの豊見城市シルバー人材センターであって欲しいと心から願うところであります。

また、シルバー人材センター会員の皆様方の豊かな経験と豊富な知識そしてこれまでに培った能力は地域の大きな財産であり、誇りであります。その能力を忌憚なく発揮していただき、地域を支える一員として幅広く社会に参加・貢献していただきますよう切望するとともに、豊見城市議会の立場においては、引き続き豊見城市シルバー人材センターを積極支援してまいりたいと考えております。

結びになりますが、貴センターの更なる発展と会員皆様のご健勝を祈念いたしまして、設立20周年のお祝いの言葉といたします。

令和5年5月31日



公益社団法人 豊見城市シルバー人材センター 設立20周年祝辞

公益社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合
会 長 翁 長 聡

本日、豊見城市シルバー人材センターの設立20周年記念式典が会員多数の皆様のご参加のもとに挙行されますことをご喜び申し上げます。

貴センターは、平成14年10月に設立され、初年度は、会員数102名、受託契約額202万円余でしたが、令和4年度には会員数は515名、受託契約額2億2,500万円余と着実に実績拡大され、高齢者福祉の増進と地域の活性化に貢献されておりますことに敬意を表します。

これも、歴代の役職員並びに会員の皆様のご尽力の賜物でありますとともに、この間、シルバー人材センターの意義・目的にご理解を賜り、ご支援頂きました国、沖縄県、豊見城市当局並びに豊見城市議会の皆様、市民の皆様に連合を代表して感謝申し上げます。

さて、我が国は少子・高齢化が進展し、人口が減少する時代となったことにより、社会を支える現役世代の減少が懸念され、人手不足分野や現役世代を支える分野での就業を促進する必要性が生じております。近年では2020年からのコロナ禍で基盤産業の観光業を中心とした停滞も追い打ちをかける状況でございました。

このような状況下でもその対策として国が策定した「ニッポン一億総活躍プラン」の中には、益々増加する、元気で意欲にあふれ、豊かな経験と知識をもっている高齢者の能力を活用して我が国の成長力を確保していくことが重要であるとされています。

現に、近年県内においても人手不足が顕著となっており、特に現役世代を支援するため、子育て分野や介護分野を中心に、働く意欲と多様な知識・経験を持つ高齢者の社会参加が強く求められるようになり、高齢者へ多様な就業機会を提供するシルバー人材センターには、益々大きな期待が寄せられています。

シルバー人材センターは、このような社会の要請に応えることを使命としており、多くの高齢者に社会参加の輪を広げ、地域と連帯し、地域を支える活動を推進することにより「高齢者が自ら支える高齢社会」の実現を目指しております。

その中でも豊見城市シルバー人材センターは、県内でも高い入会率を誇り、活動が盛んであることは頼もしい限りです。又、女性会員の比率も高く、女性を中心にした活動も他センターの手本となるものと認識しております。昨年のシルボヌ沖縄経験交流大会の経験発表の場でも貴センターの発表はその一端を垣間見るような力強い内容でした。

当連合と致しましても、高齢者が活躍する社会を実現するため、国、県及び各市町村と連携・協力してシルバー事業の発展・拡充に取り組んでいるところでございます。

貴センターにおかれましても、20周年を契機として、組織一丸となって、さらなる事業拡大を図り、高齢者福祉の増進と豊見城市の活性化に貢献して頂きますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターのご発展と会員の皆様並びに関係各位のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

令和5年5月31日

設立20周年記念式典・祝賀会

日時：令和5年5月31日（水）

場所：豊見城市立中央公民館

○ 第一部 記念式典

午後3時～4時 司会 平田 千春

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1. 開式のことば | 副 理 事 長 内 原 英 洋 |
| 2. 式 辞 | 理 事 長 赤 嶺 勲 |
| 3. 20年のあゆみ | 事 務 局 長 本 底 広 彦 |
| 寿. 来 賓 祝 辞 | 沖 縄 労 働 局 長 西 川 昌 登 |
| | 沖 縄 県 知 事 玉 城 デニ一 |
| | 豊 見 城 市 長 徳 元 次 人 |
| | 豊見城市議会議長 外 間 剛 |
| | （公社）沖縄県シルバー人材センター連合 会長 翁 長 聡 |
| 5. 感謝状・表彰状贈呈 | 理 事 長 赤 嶺 勲 |
| 6. 受賞者代表あいさつ | 会 員 宜 保 剛 |
| 7. 閉式のことば | 理 事 當 山 武 博 |



式 辞
理事長 赤嶺 勲



沖縄労働局長 代読
職業安定部長 高崎美奈子 氏



沖縄県知事 代読
商工労働部 産業雇用統括官 砂川 健 氏



豊見城市長 代読
副市長 大城 正 氏



豊見城市議会
議長 外間 剛 氏



沖縄県連合
会長 翁長 聡 氏

表 彰

◆一般表彰（発注者） 18 団体、1 個人

※ 10 年以上の継続発注によりセンター事業の発展に多大な貢献をした団体及び個人

（団 体）有限会社 壺川自動車学校

シーレックス株式会社

株式会社 メイクマン豊見城店

一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー

那覇市医師会 那覇看護専門学校

社会福祉法人 豊見城市社会福祉協議会

株式会社 ファーストエイド

豊崎自治会

社会福祉法人 明和会 介護老人福祉施設 良長園

株式会社 サンエー豊見城ウィングシティ

株式会社 フソー沖縄

沖縄県農業協同組合 豊見城支店

株式会社 くくるの会

株式会社 T・S・P

社会福祉法人 豊穰福祉会 おなが幼保連携型認定こども園

豊見城市環境緑化振興会

株式会社 津嘉山自動車学校

一般社団法人 豊見城市観光協会

（個 人）平安山 静子



表彰

◆役員表彰 10名

※3期（6年）以上役員として、センター事業の発展に貢献したもの

比	嘉	健	夫	宇	根	丈	雄
宮	城	盛	吉	當	山	武	博
金	城	房	江	新	城	慎	一
飯	牟	禮	志	洲	鎌	恵	子
比	嘉		護	根	間	盛	栄

◆会員表彰 11名

※15年以上会員として活動し、地域班長又は職群班長として2期4年以上在任し、センター事業の発展に貢献したもの

古	堅	宗	治	赤	嶺	徳	三	郎
伊	計	文	雄	糸	永	和	彦	
豊	見	山	宏	久	貝	恵	徳	
新	里		昇	田	中	輝	雄	
國	場	澄	子	永	山	盛	勝	
下	地	康	義					

◆特別表彰 1名

※特に功績が顕著な個人及び団体

宜 保 剛



○ 第二部 祝賀会

午後4時～5時 司 会 平 田 千 春

1. 幕開け かぎやで風 三線サークル他
2. 主催者あいさつ 理 事 長 赤 嶺 勲
3. 乾杯の音頭 理 事 宮 城 盛 吉
- 寿. 余 興 (1) 大正琴サークル(荒城の月、埴生の宿)
(2) カラオケサークル 赤とんぼ(人生に乾杯、二輪草)
(3) 島くとうば寸劇(あぶじゃーま)
(4) 民踊サークル(南の花嫁さん、花と花)
(5) 三線サークル ゆがふ(寿の華、肝がなさ節)
(6) カチャーシー
5. 閉会のあいさつ 理 事 比 嘉 護



祝賀会の幕開け 厳粛に踊る女性会員の皆さん



高らかに「乾杯！」



乾杯の発声 宮城盛吉理事



得意ポーズ 安谷屋富士子理事



あぶじゃーま踊る富士子さん



大正琴サークルの皆さん



唄が一番 カラオケサークル赤とんぼの皆さん



寸劇あぶじゃーま



民謡サークルの花嫁さんたち



三線サークルゆがふの皆さん



受賞者代表あいさつ 宜保 剛氏



楽しんです 女性会員の皆さん



もてるじゃん 三線の宇保さん



飲んでますよ 男性会員の皆さん



乾杯 平地といいます。 よろしく。



コロナ明け 大勢集い乾杯



来賓の皆さんも大勢参加



最後はやっぱりカチャーシー



素敵 おしゃれな大城スミ子さん